日本創造学会論文誌テンプレート（タイトル部）  
2022年3月22日版（サブタイトル部）

Template file for Journal of JCS: Ver. 13th Jul. 2020

第一著者名[[1]](#footnote-1)　第二著者名[[2]](#footnote-2)

Author NAME　 Author NAME

**［要旨］**

ここには論文要旨を記述する。要旨では段落を構成しない。よって字下げもしない。要旨には、動機・目的・方法・結果・結論などを400字までで簡潔にまとめる。基本的に過去形ではなく、現在形（現在時制）を用いる。

**［Abstract］**

The abstract begins here (Maximum length: 150 words).

キーワード：キーワード1，キーワード2，キーワード3　　5個まで

Keywords: AAA, BBB, CCC, DDD　英字のキーワード

# 見出しレベル1書式（MS ゴシック 12pt ボールド）

## 見出しレベル2書式（MS ゴシック 10.5pt ボールド）

### 見出しレベル3書式（MS ゴシック 10.5pt）

見出しレベルは、1から3までを使用し、4以上は使用しない。

### 言語・用紙サイズ等

原則として和文を用いる。著者が日本語を母語としない場合は、英文でも構わない。用紙サイズは、A4とし、上下左右余白は25mmとする。和文の場合１行45文字（英文の場合は1行約16 words）とし、1ページあたり40行とする。句読点には「、」「。」を用いる。また特別な理由がない限り、英数字は半角とする。最大ページ数は20ページとする。原稿は基本的に最終稿をそのまま印刷（出版）する。

### タイトル・著者名・要旨・キーワード部分について

　タイトル部分には「和文タイトル」（必要があれば副題）、「英文タイトル」（必要があれば副題）を示す。著者名は第一著者から第n著者までを全角スペース区切りで示す。

複数の著者を記述する際、1行におさまらないときには適宜改行する。著者名に上付きで数字を示し、論文1ページ目の脚注として著者の所属組織名（日本語）と住所（日本語）、改行して所属組織名（英語）と住所（英語）を示す。複数の著者で、所属と住所が共通する場合は、同一の上付きの番号を用いる。一人の著者が複数の所属組織に属している場合は、上付き番号を半角カンマ区切りで複数の所属組織分示す。

　[要旨]部分に、要旨を400文字までで簡潔にまとめる。要旨では字下げせず、段落も構成しない。日本語の要旨の下の[Abstract]以下に、150 words までの英文のアブストラクトをまとめる。日本語と同様、字下げせず、段落も構成しない。

　[要旨][Abstract] の下に、日本語のキーワードと英語のキーワードを記述する。日本語のキーワードは全角のカンマ「，」区切りで、また英語のキーワードは半角カンマと半角スペース区切り「, 」でそれぞれ5つまでを上限する。以下は、フォントや配置に関してのまとめたものである。

* タイトル
  + MS 明朝（OSやワープロソフトにない場合は類似の明朝体を基本とする）
  + 18pt
  + ボールド
  + センタリング
* 副題
  + MS 明朝（OSやワープロソフトにない場合は類似の明朝体を使用）
  + 12pt
  + ボールド
  + センタリング
* 英字タイトル
  + Times New Roman（OSやワープロソフトにない場合は類似のTimesなどを使用）
  + 12pt
  + 日本語サブタイトル下に、一行空行を設けたのちセンタリング
* 英字副題
  + Times New Roman（OSやワープロソフトにない場合は類似のTimesなどを使用）
  + 12pt
  + 日本語サブタイトル下に、一行空行を設けたのちセンタリング
* 要旨
  + MS 明朝（OSやワープロソフトにない場合は類似の明朝体を基本とする）
  + 12pt
* Abstract
  + Times New Roman（OSやワープロソフトにない場合は類似のTimesなどを使用）
  + 12pt
* 本文
  + 日本語
    - MS 明朝（OSやワープロソフトにない場合は類似の明朝体を基本とする）
    - 10.5pt
  + 英数字
    - Times New Roman（OSやワープロソフトにない場合は類似のTimesなどを使用）
    - 10.5pt

# 図表

## 図の挿入

　図を挿入する場合、図番号と図キャプションを挿入する図の下部に示す。図番号と図キャプションは、全角コロン「：」で区切る。日本創造学会の画像を用いて用例を示す（図1）。



図1：ここに図キャプションを入れる

## 表の挿入

　表を挿入する場合、表番号と表キャプションを挿入する表の上部に示す。表番号と表キャプションは、全角コロン「：」で区切る。以下に用例を示す（表1）。

表1：ここに表キャプションを入れる

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **都道府県** | **スープの種類** | **麺の太さ(mm)** |
| 北海道 | みそ | 2.0 |
| 東京都 | しょうゆ | 2.1 |
| 福岡県 | とんこつ | 1.0 |

# 参考文献

　参考文献は、文中に [n] として示す。　（例）学力と創造力には、相関はない[1]。

　文中内で参照した文献のみを一覧として、文章末に章を立てて参考文献として示す。参考としたページが複数に渡るときには「pp. 」、1ページのみのときには「p. 」とする。

## 学術雑誌

[n] 著者名1・著者名x（年）「学術論文タイトル」『掲載雑誌名』巻数，号数，ページ．

[1] 創造太郎・発想二郎（2020）「創造性とマネジメント」『日本創造学会論文誌』1, 1, pp. 1-20.

[2] Sozo, T., Jiro, H. (2020) “Creativity and Management”, Journal of Japan Creativity Society, 1, 1, pp. 1-20.

## 書籍

[n] 著者名1・著者名n（年）『書籍タイトル』出版社名，ページ．

[1] 川喜田二郎（1967）『発想法－創造性開発のために』中央公論社，p. 21．

[2] 髙橋誠（編著）日本創造学会（監修）（2020）『実例で学ぶ創造技法』日科技連出版社．

　　※ 書籍全体を参考とする場合は、ページを省略する

## Webページ

[n] 著者名もし著者がない場合は所有者（年）「Webページ名」URL （最終閲覧日：年月日）

[1] 日本創造学会（2019）「第41回 日本創造学会研究大会」  
http://www.japancreativity.jp/conference/41st/index.html （最終閲覧日：2020年4月17日）

※ URLにハイパーリンクが自動的につく場合は、削除する

※ 公開年や作成年がWebページからわからない場合は「年不明」とする

※ URLが1行を越えてしまい読みにくくなる場合は、Shiftキー＋Enterで適宜行を改める

1. 第一著者の所属組織名（日本語）　住所（日本語）

   　第一著者の所属組織名（英語）　住所（英字） [↑](#footnote-ref-1)
2. 第二著者の所属組織名（日本語）　住所（日本語）

   　第二著者の所属組織名（英語）　住所（英字） [↑](#footnote-ref-2)